

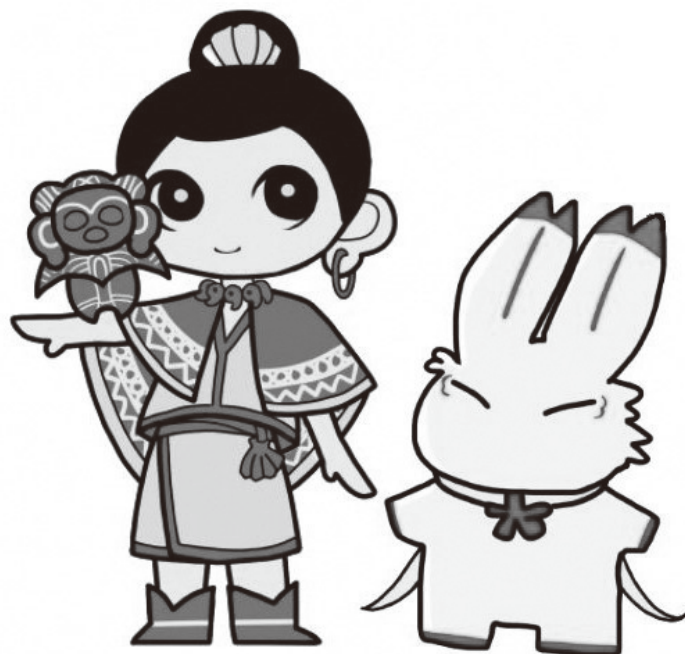
さいたま市文化財時報

かや
榎りぼーと

第 89 号

さいたま市の文化財キャラクターが誕生しました！

現在、さいたま市内には、国・県・市の指定を受けた文化財が526件（令和5年6月30日現在）あります。これらの文化財をより多くの市民の皆様を知っていただきたいという思いから、市内の文化財と一緒にPRしていくマスコットキャラクターを制作しましたので、本号ではこのマスコットキャラクターについて詳しく紹介していきます。



さいたま市 文化財キャラクター
「福みみーズ」と「サクラソウサギ」

「さいたま市文化財キャラクター」制作の過程

1. 「さいたま市文化財キャラクター」制作の背景

さいたま市内にある526件の文化財の中には、特別天然記念物「田島ヶ原サクラソウ自生地」や国指定史跡「真福寺貝塚」など、国内でも有数の文化財が存在しますが、市民アンケートによる調査からは市民の認知度は高くないという結果が出ており、市民の皆様にとどのように周知していくかが課題となっています。

そうした中で、さいたま市の貴重な文化財を知っていただきたいという思いから、市内の文化財と一緒にPRしていくマスコットキャラクターを制作するに至りました。

2. キャラクター制作依頼

令和4年7月から9月にかけて、市内の市立高等学校3校と、大宮国際中等教育学校にデザインの募集を行ったところ、田島ヶ原サクラソウ自生地にまつわるキャラクターデザイン2点、真福寺貝塚にまつわるキャラクターデザイン3点の応募がありました。

3. キャラクター投票

令和4年11月から12月まで、さいたま市立小学校・中学校・特別支援学校の児童・生徒にキャラクター選考のための投票の参加を呼びかけたところ15,064名による投票があり、それぞれ投票数の高かった2点を、「さいたま市文化財キャラクター」として決定しました。




4. 制作者への感謝状授与

令和5年1月16日（月）、さいたま市文化財キャラクターの発表会と制作者への感謝状授与式を開催し、教育長より感謝状と記念品を贈呈しました。授与式の様子は当日のニュース番組や新聞などにも取り上げられました。


「さいたま市文化財キャラクター」紹介

この度さいたま市文化財キャラクターとして誕生した「サクラソウサギ」と「福みみーズ」について、詳しくご紹介します。

「田島ヶ原サクラソウ自生地」キャラクター

制作者	さいたま市立大宮国際中等教育学校3学年
キャラクター名	サクラソウサギ
設定	さいたま市のサクラソウを自主的に守っているウサギ(とサクラソウ)の化身。自分に自信がないところもあるが、やさしくて人懐っこく、サクラソウが好き。 言葉は話せないけど、なんとなく身振り手振りで大体考えていることは分かる。わかりやすいやつ。
デザイン 	サクラソウの花のかたちをイメージしてデザインを行いました。 耳と、周りのほっぺのあたりのギザギザした毛並みを合わせて、サクラソウの五枚の花びらになるようにしました。 緑色のマントのようなものは、サクラソウの葉っぱをイメージしています。

「真福寺貝塚」キャラクター

制作者	さいたま市立大宮国際中等教育学校3学年
キャラクター名	福みみーズ
設定・デザイン 	作成したキャラクターはモチーフである貝塚と、真福寺貝塚から発掘された重要文化財であるミミズク土偶をイメージしたデザインになっています。 福みみーズは縄文人である福と、その相棒であるミミで構成されるコンビです。福は縄文人らしい髪型とともに当時の縄文人が身に付けていた耳飾りや勾玉、貝塚のイメージで貝の飾りをつけています。 身に付けているマントは発掘された土偶に似た模様にし、コンビ感を強めました。マントの下に着ているものも、縄文時代に人が実際に着ていたとされる服をイメージしたデザインにしました。 ミミは発掘された土偶をキャラクターらしく簡略化し、模様は福とお揃いになるようにしました。福耳になっているのは名前が駄洒落になっている（福耳（福みみ））ということで両方の耳を福耳にしました。

※設定、デザインの紹介文は制作者によるものです。

TOPICS

●ボランティアガイドを実施しました ー田島ヶ原サクラソウ自生地を守る会ー

毎年サクラソウの開花期に「田島ヶ原サクラソウ自生地を守る会」の皆様がガイド活動を行っており、今年は3月28日（火）から4月16日（日）にかけて、ボランティアガイドとして御活躍いただきました。

最終日には、桜草公園にてさくら草まつりも開催され、当日ガイドを希望された55名の来場者の方々に、自生地の歴史や植物の特性について解説していただきました。



▲ガイド活動の様子

さいたま市内文化財関連イベント

文化財保護課主催の文化財関連イベントを開催します。見学や公開に関する詳しい内容は、市ホームページをご覧ください。文化財保護課（①048-829-1725 ②③048-829-1724）までお問い合わせください。

名称	日時・場所・時間
①見沼通船堀 開門開閉実演	8月23日（水）第1回10時から 第2回13時から（各回1時間10分程度） 見沼通船堀東縁 一の関 二の関（緑区大間木、下山口新田） 国指定史跡「見沼通船堀」の東縁一の関と二の関の間で水位を調節し船を浮かべます。
②最新出土品展	9月5日（火）～9月18日（月・祝） 9時～16時30分 さいたま市立博物館 特別展示室 令和4年度に、市内各所で発掘した出土品や、調査の様子を展示します。 ※9月11日（月）は休館です。 ※このほか、市内の商業施設、公共施設で規模を縮小した巡回展を行います。
③さいたま市内遺跡 発掘調査成果発表会	9月2日（土） 生涯学習総合センター 多目的ホール 市内の遺跡の発掘調査の成果を各調査担当者が発表します。

さいたま市文化財時報

樞りぼーと

第89号

令和5年6月30日

《編集・発行》

さいたま市教育委員会事務局 生涯学習部 文化財保護課

☎330-9588 さいたま市浦和区常盤6丁目4番4号

☎048-829-1723 ㊚048-829-1989

<https://www.city.saitama.jp/>